



北空知4町通学アンケート調査（集計速報）

令和4年1月12日

第3回 北空知4町地域公共交通活性化協議会資料

目次

1.	調査概要	2
2.	調査結果からみえる公共交通における課題の整理	3
3.	集計結果	7
3-1	個人属性	7
3-2	利用している交通手段	10
3-3	利用しているバス停・駅	11
3-4	バスの利用状況	12
3-5	J Rの利用状況	15
3-6	進学先選考における公共交通への意識	18
3-7	公共交通の利用における問題点等	19

(1) 調査目的

4町から深川・滝川の公立高等学校へ通学している生徒に対して、通学時の移動実態やニーズの調査を行い、今後の公共交通の検討の基礎資料とする。

(2) 調査期間

令和3年9月28日（火）～10月22日（金）

(3) 調査対象者

妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町から滝川高等学校、滝川工業高等学校、深川東高等学校、深川西高等学校、滝川西高等学校に通学している生徒

(4) 配布・回収方法

5校の協力を得て調査票を送付し、対象生徒から回答

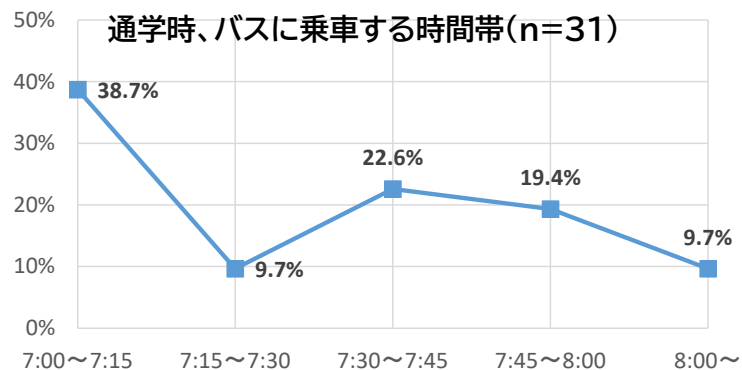
各高校の回収票数(計122票)	
滝川高等学校	44票
滝川工業高等学校	1票
深川東高等学校	5票
深川西高等学校	52票
滝川西高等学校	20票

(5) 調査項目

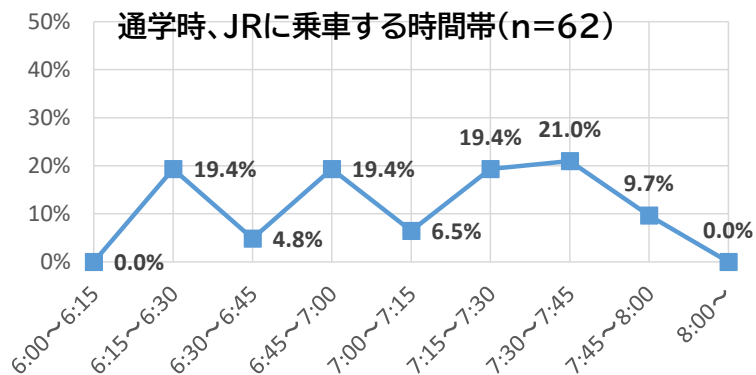
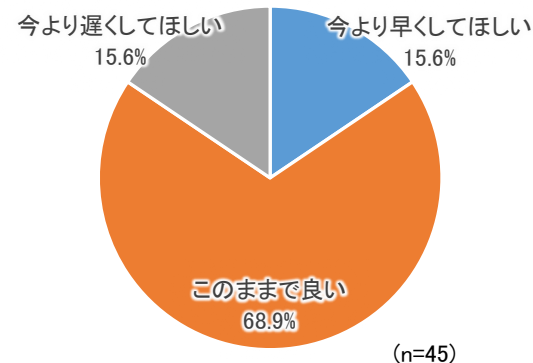
- ① 個人属性（学年、性別、住まいの市町村、部活動への所属状況）
- ② 移動実態及び移動ニーズ（通学時の交通手段、運行サービスに対する考え方など）

■通学時間帯における利便性の維持・向上

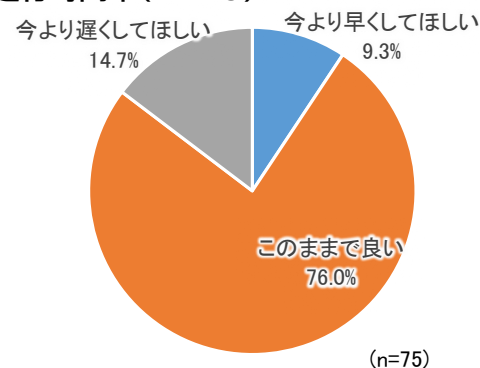
- ・町によっては、JR・バスの交通手段によらず、通学時間全体で30分近く要している実態がみられることに加え、JRやバスに乗車する時間帯では6時台～7時台の早い時間帯に利用している実態もみられる。
- ・一方で、現状の運行時間帯で良いと回答している学生もみられるため、公共交通の主なターゲットである学生の利用を維持するために、現状の運行形態や路線の維持を図ることが重要である。
- ・より利便性の高い通学時間帯の公共交通の実現に向けては、駐車場所を限定するなど、移動時間の短縮に向けた快速化の検討も有効である。



バスの運行時間帯(n=45)



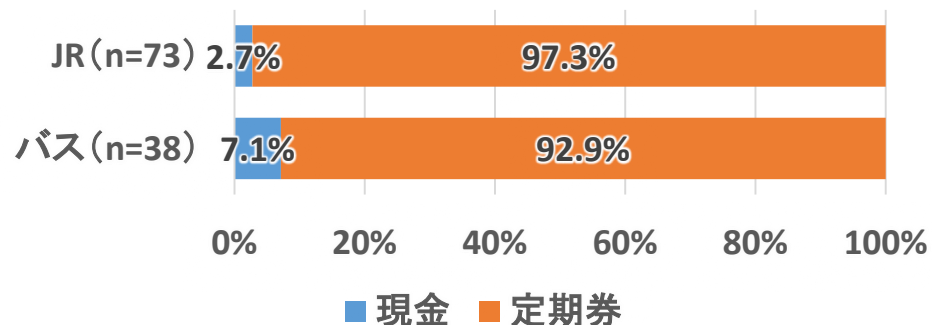
JRの運行時間帯(n=75)



■運賃負担の軽減に向けた施策の検討

- ・公共交通の運賃の支払い方法については、JR・バスともに定期券が9割以上を占めている。(P13・P16)
- ・一方で、両交通手段とも、「運賃が高い」という意見もみられる。(P14・P17)
- ・利用者数の継続した確保に向け、公共交通をより利用しやすいと思えるように、運賃負担の軽減策の検討が有効である。

JR及びバスの運賃支払方法



JR及びバスの運賃に対する意見

